

# 業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2021. 11. 18

**No. 660**

## 2021年年末手当 最終回答

**会社・基準額は、基準内賃金の1.67箇月分とする**

**組合・要求額とは乖離があり不服であるが、現状を鑑み席上妥結とする**

「組合」

組合員は、コロナ禍においても感染リスクと闘いながら日々安全安定輸送に従事し鉄道貨物輸送を守っている。

中間決算では、単体経常損失18億円、鉄道事業－66億円と厳しい結果となり、2022年3月期決算では単体経常利益23億円を計画しているが、会社の状況が非常に厳しいことは理解している。

我々はJR連合国会議員懇、JR連合と共に、通常国会において「債務等処理法改正案」を成立させJR貨物支援138億円等を獲得し、キャッシュ・フローに間違いなく貢献しており、この難局を労使が一体となって打破していかなければならない。

本日の回答には、要求額と乖離があり大変不服ではあるが、これ以上の進展が望めないと判断し席上妥結とするが、2022春闘では不平不満が多くあるプロフェッショナル群の改善を強く求めることを通告しておく。

以 上